

登米市議会議長 及川 昌憲 殿

会派又は議員名

浅田 修



調 査 報 告 書

調査の概要は次のとおりであります。

記

1. 調査目的 次世代農業と6次産業化に関する日本最大の展示会で、登米市の次世代農業の方向性を調査する。
2. 調査先 幕張メッセ
3. 調査期間 平成30年10月10日から  
平成30年10月11日まで 2日間
4. 調査の経過と結果並びに所感  
幕張メッセにおいて、620社の出展による日本最大の展示会、第5回次世代農業 EXPO、第3回6次産業化 EXPO、第8回農業資材 EXPO を調査した。農業に関するあらゆる製品やサービスが結集し、全国から来場する農業法人、農協、農業参入検討企業と出展社との間で多くの商談が行われていた。農業技術においては最先端の製品や技術が紹介され、設備導入の相談や価格・納期の交渉等が行われ、専門セミナーでは、植物工場の取り組み、IT・スマート農業への取り組み、農業ロボット運用への取組等が紹介され農業技術の最先端を聞くことができた。本市の次世代農業としての新規産業の導入、農業新時代におけるアグリビジネスのあり方について学ぶことができた。



# 招待券

農業分野

# 日本最大! 620社が出展

※ 同様の展示会との出展社数の比較

農業ワールド2018 内

第5回 **次世代農業 EXPO**

第3回 **6次産業化 EXPO**

第8回 **農業資材 EXPO**

会期 **2018年**  
**10月10日[水]~12日[金]**  
10:00~18:00 12日[金]のみ17:00まで

会場 **幕張メッセ**

主催 **リード エグジビション ジャパン(株)**

当社があなたをご招待いたします

主催者  
リード エグジビション ジャパン(株)

OPEN! 広げて両面をご覧ください

本券をお持ちでない場合、入場料 ¥5,000/人。18歳未満の方の入場は回くお断りします。

最新情報はWebへ ▶ [www.nogyoworld.jp](http://www.nogyoworld.jp)

主催者



リード エグジビション ジャパン(株)  
いしづみ  
代表取締役社長 石積 忠夫

日本最大の展示会主催会社。“展示会は各産業を活性化させる”という信念で、農業ワールドをはじめ、年間58分野 215本を東京、幕張、横浜、大阪、名古屋、神戸などで開催。今後、全国で年間300本の開催を目指す。

## 本展は 商談のための展示会です

### 来場対象者

- 農業法人
- 参入検討企業
- 農協・農家
- 小売店・卸商  
(ホームセンター・作業用品店など)
- 道の駅・直売所
- 自治体・大学  
…など

### 商談内容

- ◆ 製品の仕入れ
- ◆ 取引先の開拓
- ◆ 設備導入の相談
- ◆ 価格・納期の交渉  
…など

### 出展社

- 下記のメーカー・商社 など
- 農機・ドローン
  - 植物工場
  - 施設園芸 資材
  - IT・スマート農業
  - 肥料・土
  - 6次産業化 設備  
…など

### 前回(2017年)の商談風景



平成30年11月22日

登米市議会議長 及川 昌憲 殿

会派又は議員名

浅田 修

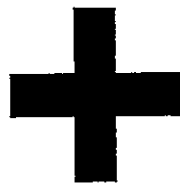


調 査 報 告 書

調査の概要は次のとおりであります。

記

1. 調査目的 自治体病院経営をめぐる最新情報等を調査し、登米市医療の今後の方向性を探る。
2. 調査先 TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター
3. 調査期間 平成30年11月12日(月)
4. 調査の経過と結果並びに所感  
2006年に導入された新しい臨床研修制度の導入を契機として全国で医師不足深刻化した。本市の病院も医師不足によって2診療所の休診が余儀無くされた。そうした中で今回、講師の城西大学経営学部マネジメント総合学科教授、伊関友伸先生による、「生き残りをかけた自治体病院経営」について「地域消滅を防ぐ自治体病院」「独立行政法人化などの経営形態変更」等について受講する。医師不足の解消を図るために、どうしたら医療者が勤務したくなる地域となるか、医師を育てるには何が必要か、総合診療医の必要性、入院体制加算の必要性、産業として考える医療等詳細にわたって学ぶことができた。危機的状況過ぎて崩壊状況と言われている登米市医療の再生に大きなヒント頂いた。



## 激動の時代の 自治体病院経営

in  
東京

10:00~12:30

### 生き残りをかけた自治体病院経営 【第一人者による最新情報伝授】

11/12  
月曜日

- ・自治体病院経営をめぐる最新情報を伝授
- ・都道府県地域医療構想の目指すもの
- ・国の医療政策、診療報酬改定はこう動く
- ・こうすれば自治体病院経営は改善する、ツボを伝授
- ・地方独立行政法人など経営形態変更は経営改善につながるか？

14:00~16:30

### 地域消滅を防ぐ 【まちづくりの核としての自治体病院を考える】

- ・地域消滅の時代に180度変わった自治体病院の存在価値
- ・最新データ、深刻な医師・看護師不足にどのように対応するのか？
- ・地域の合計特殊出生率を上げるために必要なこと
- ・地域雇用の再重要産業としての自治体病院
- ・地域消滅の時代に向けた地方議会議員の役割

10:00~12:30

### あなたの地域の自治体病院の 経営を診断する2018年版

11/13  
火曜日

- ・2018年度における最新データに基づき、参加者の自治体病院の経営状況をリアル分析
- ・自治体病院経営の必須データである地方公営企業年鑑とDPC調整係数を徹底解説
- ・医師給与の水準はどのくらいが望ましいのか、相場観を持つ
- ・徹底指南！こうすればあなたの自治体の病院の収益は改善する
- ・議会質問1回で数千円単位の経営改善を実現する

14:00~16:30

### わがまちの病院を いかに安く建築するか？

- ・地域医療崩壊の隠れた原因である高コストの病院建築
- ・常識を疑え！役人のやり方では病院の建築コストは高くなる
- ・本格的少子高齢社会における競争入札方式の限界
- ・どのようにして250床で70.6億円の病院建築を実現させたか
- ・高コストの病院建築に対して地方議会議員はどうチェックすべきか

いせき ともとし  
伊関 友伸

研究テーマは、行政評価、地域医療問題、保健・医療・福祉のマネジメント。2006年8月から2007年3月まで、夕張市の医療再生アドバイザーとして、夕張医療センター設立に携わる。兵庫県丹波市の「県立柏原病院の小児科を守る会」の活動の支援も行っている。総務省「公立病院に関する財政措置のあり方等検討会」など数多くの国・地方自治体の委員等をつとめる。全国市長会機関誌「市政」に「スクレピオスの杖を探して 地域医療再生への道」を連載中。

略歴  
東京都立大学法学部法律学科卒。東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了。1987年埼玉県入庁（県民部県民総務課課長兼、北埼玉郡大和町企画財政課長（県派遣）、総合政策部計画調整課主査（計画フレーム担当）、健康福祉部社会福祉課地域福祉担当主査、県立精神医療センター・精神保健福祉センター総務課員担当主幹。2004年城西大学経営学部マネジメント総合学科助教授、2010年同教授。医学書院「病院」編集委員。



# 生き残りをかけた 自治体病院経営

城西大学経営学部

教授 伊関友伸

## 経歴

- 1987年埼玉県庁入庁
- 県民部県民総務課、川越土木事務所管理課、出納局出納総務課、総合政策部計画調整課、健康福祉部県立病院課、社会福祉課、県立精神保健総合センターに勤務
- 1995～6年度大和町企画財政課長(県派遣)
- 2004年4月から城西大学経営学部助教授
- 総務省「公立病院に関する財政措置のあり方等検討会」委員(2008年度)
- 内閣府「公立病院改革の経済・財政効果に関する研究会」委員(2015・2016年度)
- 総務省「地域医療の確保と公立病院改革の推進に関する調査研究会」委員(2016・2017年度)
- 医学書院「病院」編集委員
- 研究テーマ:行政学(行政評価、公的組織の变革、地域医療問題、自治体病院の経営変革)
- 博士(福祉経営:日本福祉大学から授与)

# あなたの地域の自治体病院の 経営を診断する2018年度版

城西大学経営学部

教授 伊関友伸

## 経歴

- 1987年埼玉県庁入庁
- 県民部県民総務課、川越土木事務所管理課、出納局出納総務課、総合政策部計画調整課、健康福祉部県立病院課、社会福祉課、県立精神保健総合センターに勤務
- 1995～6年度大和町企画財政課長(県派遣)
- 2004年4月から城西大学経営学部助教授
- 総務省「公立病院に関する財政措置のあり方等検討会」委員(2008年度)
- 内閣府「公立病院改革の経済・財政効果に関する研究会」委員(2015・2016年度)
- 総務省「地域医療の確保と公立病院改革の推進に関する調査研究会」委員(2016・2017年度)
- 医学書院「病院」編集委員
- 研究テーマ:行政学(行政評価、公的組織の変革、地域医療問題、自治体病院の経営変革)
- 博士(福祉経営:日本福祉大学から授与)